

バスガイド確保 県の支援求める

私鉄県労組連

バスやモノレールなど公共交通機関の従業員で構成する私鉄県労働組合連合会（私鉄県連、喜屋武悟執行委員長）は6日、県庁に玉城デニー知事と同4人目を訪ね、物価高や人手不足の影響で修学旅行のバスガイド添乗が減っていると、ガ



イドの雇用と人材確保を支援するよう要望した。

私鉄県連によると、新型コロナウイルスの収束以降、県内への修学旅行需要が増加し、ガイドの人繰りが追いついていない。一方で、昨年ごろからは

物価高のため、コスト抑制でガイドを添乗させなかったり、別の都道府県に旅程を変更したりする学校が増え、ガイドの確保と維持が課題となっている。喜屋武委員長は「沖縄が修学旅行先に選ばれる最大の目的は平和学習の提供だ」とガイドの重要性を訴えた。玉城デニー知事は「（修学旅行生が）文化や歴史への理解を深めるための入り口をガイドが担っている」と述べ、関係機関と連携して対応を検討するとした。